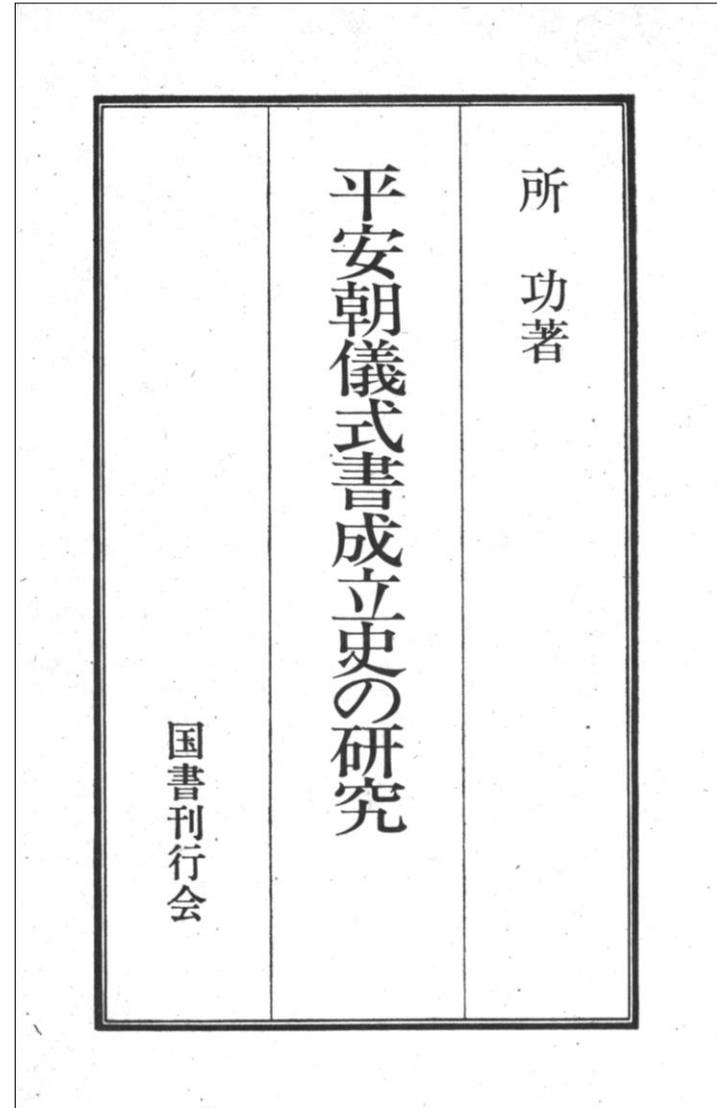


平成 13 年 (2001) 刊 (A5 判 794 頁)



昭和 60 年 (1985) 刊 (A5 判 992 頁)



平成 30 年（2018）思文閣出版（A4 判 230 頁）



令和 2 年（2020）国書刊行会（A4 判 390 頁）



平安神宮の外拝殿⇔平安宮の大極殿（唐風）（「文化遺産オンライン」より）



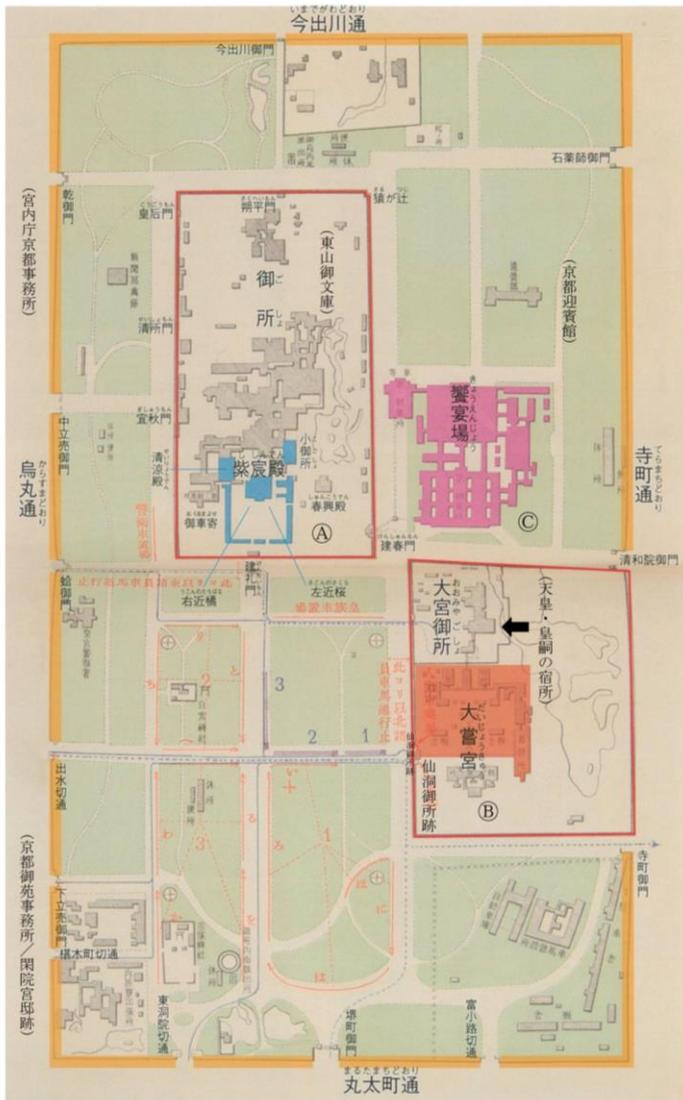
京都御所の紫宸殿（和様）（「宮内庁ホームページ」より）



幕末以前の即位式の冕冠（左上）と袞衣＝御大袖（唐風）（『冕服図帖』より）

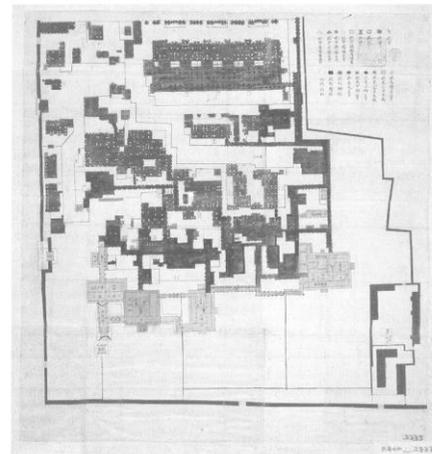
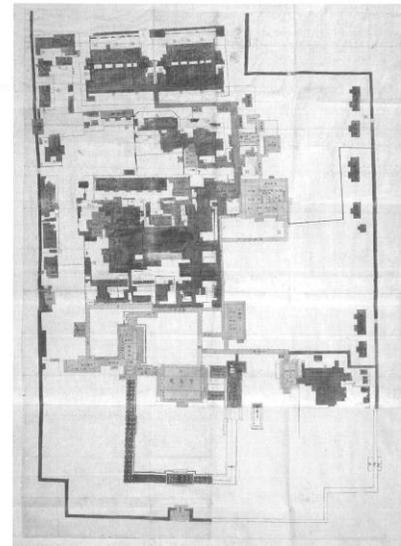


平安以来の黄櫨染の御袍と御祭服（和様）（井筒装束店「風俗博物館」所蔵）

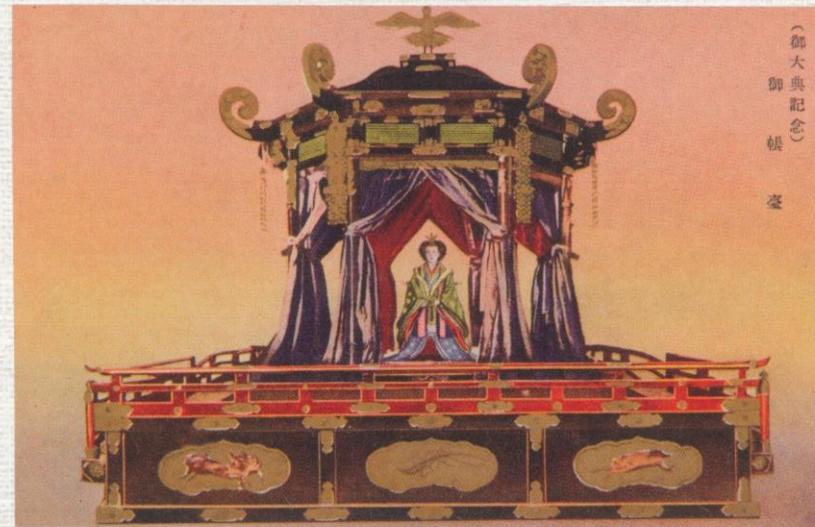
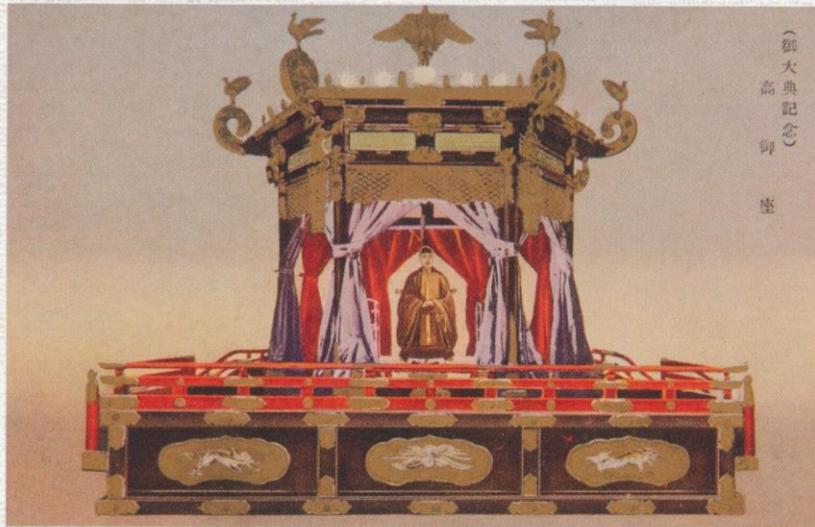


昭和三年（一九二八）十一月の(A)即位礼（紫宸殿）・(B)大嘗祭（仙洞御所跡）・(C)大饗場

『京都の御大札』より



江戸時代後期の「禁裏御所絵図」(上)と「仙洞御所絵図」(国立国会図書館蔵)



大正大礼（1915）に作成の高御座（左）と御帳台（右）／昭和大礼（1928）即位礼の紫宸殿と前庭（「御即位大礼御模様」絵葉書）

順徳天皇撰『禁秘抄』承久三年（一二二二）ころ成立



目録

賢所事	大刀契事	寶劔神璽
玄上事	鈴鹿事	常祓事
清涼殿事	殿上事	下侍事
壺盤所度	朝餉度	御手水用事
夜御殿事	上御局事	我戸事
上御局度	二回事	南殿事
早木事	恒例會次第事	右侍讀事

A 名古屋市鶴舞図書館所蔵（河村文庫本）『禁秘抄』奥書

以三京極殿（後西天皇孫
文仁親王か）御藏本・細川玄旨法印（藤隆
幽斎）之校正之御本一朱点等読終。
安永四年（一七七五）乙未七月八日

神村信九郎忠貞

B



B 同右所蔵（河村文庫本）『禁秘御抄註解』（八冊）

- (イ) 京都の滋野井公澄（一六七一〜一七五六、尾張出身の吉見幸和に師事）講述
孫の公麗（一七三三〜一七八二） Ⅱ 『禁秘御抄階梯』安永五年（一七七六）刊
- (ロ) 神村正隣（一七二八〜一七七二）美濃出身・尾張藩主宗勝右筆。校注編著多数
『禁秘御抄考証』（三冊、山高信順補訂） Ⅱ 名古屋市蓬左文庫所蔵
- (ハ) 神村忠貞（一七四〇〜一七八二）三河出身・正隣養子・公麗門人
- (イ) の公澄講述『禁秘御抄註解』筆記、(ロ) の正隣遺稿『禁秘抄集解』完成

※光格天皇（一七七二〜一八四〇）安永八年（一七七九）即位式……公麗に従い忠貞見学

『御即位次第略解』（三冊、神村忠貞著・河村秀俊補） Ⅱ 蓬左文庫所蔵

※河村秀世——秀穎——秀俊（神村忠貞門人）→所功編『光格天皇関係絵図集成』所収
「秀根——益根（伯父・実父と共に『書紀集解』完成）」

※名古屋博物館編刊図録（榎英一氏解説）『尾張名古屋の古代学』（平成七年三月）